

はじめに ——「元号（年号）」とは何か—— 3

第一章 漢字文化圏の暦と年号 21

一 「暦」に記される年月日

- 1 漢字文化の思想と制度
- 2 「元嘉暦」「儀鳳暦」の伝播
- 3 陰陽暦と太陰暦・太陽暦

二 漢代から清期までの年号

- 1 秦の始皇帝による紀年
 - 2 漢の武帝が創めた年号
 - 3 歴代王朝年号の特徴
- コラム ベトナムと西夏の年号
コラム 朝鮮三国と渤海の年号

第二章 律令国家の成立と年号 45

一 「大化」以前の紀年の在り方

- 1 「倭王」時代の年号と干支
- 2 聖徳太子ゆかりの私年号
- 3 後代に作られた「古代年号」

二 公年号の成立と法制化

- 1 改新の先駆け「大化」創建
- 2 「白雉」と「朱鳥」の改元
- 3 「大宝」建元の画期的意義

三 奈良時代の代始・祥瑞改元

- 1 即位に関わる代始改元
- 2 奈良時代に多い祥瑞改元
- 3 四字年号と孝謙・称徳女帝

コラム 「上野三碑」の年代表記
コラム 不思議な「白鳳」と「白鳳文化」

第三章 平安朝史の展開と年号 81

一 桓武天皇と嵯峨天皇の改元

- 1 「天応」の辛酉元日改元
- 2 即日改元から踰年改元へ
- 3 平安初期の「一世一元」

二 「延喜」以降の革年改元

- 1 三善清行の「辛酉革命」論
- 2 「延喜」改元の複雑な理由
- 3 「辛酉」「甲子」改元の慣例化

三 多様化する災異改元

- 1 天変・地異による改元
- 2 疾病・兵乱による改元
- 3 改元に伴う「恩赦」

四 新年号の考案・審議・勅定

- 1 文字案を勅申する学者
 - 2 公卿による論難と陳弁
 - 3 天皇による勅定と公布
- コラム 年号の読み方 — 呉音が漢音か —
コラム 大江匡衡・匡房と年号勅申の舞台裏

第四章 中世に揺れ動いた年号 125

一 中世史上の「正統年号」

- 1 鎌倉時代に多い改元
- 2 鎌倉幕府の関与

- 3 公卿たちの改元論議
- 4 藤原定家が見た改元

二 南北朝期に並び立つ年号

- 1 年号と天皇との関わり
- 2 ユニークな「建武」改元
- 3 年号が並び立つ時代
- 4 足利義満と年号
- 5 改元の伝播と地方の私年号

三 戦国時代の改元

- 1 戦乱による儀式の混乱
 - 2 改元費用の工面と公家の在国
- コラム 後醍醐天皇の革命・革命否定論
コラム 改元をめぐる多様な「噂」

第五章 近世にも生き続けた年号 157

一 「天下人」の関与した年号

- 1 織田信長と「天正」改元
- 2 豊臣秀吉と「文禄」「慶長」改元
- 3 徳川家康と異例の「元和」改元

二 江戸時代の朝幕協力改元

- 1 「寛永」改元と「將軍代始」
- 2 制度の整備と『改元物語』
- 3 年号改元にみる朝幕関係
- 4 改元費用の在り方

三 幕末の世相を映す改元

- 1 「黒船」の渡来と「安政」改元

- 2 「元治」改元と別の年号案
 - 3 朝廷主導の「慶応」改元
- コラム 改元への庶民のまなざし
コラム 幕末故実家の証言

第六章 近代に確立した「一世一元」

193

一 一代一号の提唱と「明治」改元

- 1 中井竹山と藤田幽谷の提言
- 2 岩倉具視の画期的な改元案
- 3 天皇が籤で選ばれた「明治」

二 明治初頭の復古と革新

- 1 王政復古と五箇条の新国是
- 2 皇紀(神武天皇紀元)の公用
- 3 新暦(太陽暦)の採用と紀元節

三 皇室典範と登極令の「元号」

- 1 皇室典範で確立した「一世一元」
- 2 登極令で示された改元方法

四 「大正」と「昭和」の改元

- 1 「大正」改元の実情
 - 2 天皇の追号と元号の境目
 - 3 「昭和」改元の真相
- コラム 「自由自治元年」と「征露二年」
コラム 吉田増蔵と森本角蔵の偉業

第七章 戦後史上の「元号問題」

241

一 GHQ占領下の元号

- 1 一変した戦後の皇室典範

- 2 闇に消えた「元号法」案
- 3 参議院での「元号」存廃論

二 「元号法」の成立過程

- 1 「明治百年」前後の動向
- 2 「元号法制化」運動の拡大
- 3 衆参両院で「元号法」成立

三 改元の手続きと扱い方

- 1 元号選定の手続き
 - 2 元号の公的な在り方
 - 3 内密に始まった元号の考案
- コラム 新元号の出典は日本の古典から!?

第八章 「平成」の改元と次の元号

275

一 昭和天皇の晩年と改元準備

- 1 癌の手術と御鬮病
- 2 新元号案の提出と整理
- 3 崩御直後の「剣璽等承継の儀」

二 「平成」元号の誕生と意味

- 1 改元の最終的な手続き
- 2 公表された出典の解釈
- 3 「平成」に関する逸話

三 新元号への具体的な道筋

- 1 「高齢讓位」の「特例法」
 - 2 新元号の決め方と候補案
 - 3 上皇の追号となる「平成」
- コラム 元号名を冠した寺院と学校

あとがき — 国際社会の紀年法 —

日本公年号年表 306
日本の公年号索引 332
日本の年号候補・未採用文字案 334 (橋本富太郎)

所 功 (ところ いさお)

昭和16年(1941)岐阜県生まれ。京都産業大学名誉教授・モラロジー研究所研究主幹。法学博士(慶応大学、日本法制文化史)。編著に『皇室事典』(角川学芸出版)、『日本年号史大事典』(雄山閣)など。

久禮旦雄 (くれ あさお)

昭和57年(1982)大阪府生まれ。モラロジー研究所研究員(平成30年4月から京都産業大学准教授)。博士(法学、京都大学、日本古代法制史)。

吉野健一 (よしの けんいち)

昭和59年(1984)東京都生まれ。京都府立丹後郷土資料館学芸員。京都市立大学文学研究科修士課程修了(日本近世政治文化史)。

文春新書

1156

げんごう ねんごう から読み解く日本史
元号 年号

2018年(平成30年)3月20日 第1刷発行